

北九州 PCB 廃棄物処理事業だより (No.11)

令和5年3月号



■ 1期施設引渡式を開催致しました。

平成31年3月でトランス・コンデンサの処理が終了し、解体撤去のフェーズに入った第1期施設では先行工事が完了して本格的なプラント解体撤去工事が始まりました。

それに伴い、今まで処理棟内の管理をしていた北九州環境プラントサービス（略称 KEPS）が第1期施設より撤退することになり、令和5年3月13日に JESCO への施設引渡式を行いました。

式では KEPS 楠社長より「1期施設は操業開始から19年になりました。トランス・コンデンサの処理が完了しその後は解体撤去へと移行してきました。これまで1期の業務に長い間関わった皆さん大変お疲れ様でした。」と労いの言葉をかけられました。

その後、鍵の引渡が行われました。JESCO の1期事務所は令和5年度末に閉鎖し2期事務所に移転する予定です。



KEPS 楠社長



鍵の引渡の様子



JESCO 石垣所長

■ 若松区自治会向け施設見学会を開催致しました

令和4年12月14日、若松区自治会の皆様をお招きした施設見学会に21名の方が参加されました。令和5年度のPCB機器の処理完了に向けて順調に処理が進んでいること、そして1期施設の解体撤去が、安全かつ順調に進行していることをご確認頂きました。

当日は、プレゼンテーションルームで操業状況、解体撤去の状況についてご説明した後に、2班に分かれて1期及び2期施設の見学を行いました。参加された方からは「海のすぐそばに処理場があって高潮の対策は万全なのか」といった質問がありましたが、「全て対策済み」ということで、安心して頂きました。

また、1期施設の見学通路から解体状況を見て頂き、順調に解体が進んでいることもご確認頂きました。処理完了まであと約1年となりましたが、引き続き見学を受けて入れてまいります。



1期情報公開ルーム



2期見学通路

■ 令和4年度総合防災訓練を実施致しました

北九州 PCB 処理事業所では、複合災害の発生を想定し、自衛消防活動の連携、情報伝達と指揮統制の確認をするため、所あがりの総合防災訓練を年に1回実施しています。

今年度は、令和4年10月26日(水)に「震度5強の実施が発生し設備が非常停止。その後、1系プラズマ溶融分解炉室で火災が発生して初期消火活動中に1名が負傷した」という設定で、避難、自衛消防活動、通報等の訓練を実施しました。

訓練終了後の総括では、若松消防署警防第3課長より「災害時の行動として最も重要なのは人命救助です。火災が発生した場合は有毒ガスが発生する可能性があり、屋外に避難する場合は風向き等も考慮して避難場所を決めること。今回の訓練では指揮者が明確に指示を出し、安全データシート、図面の用意もあり、消火活動に活かせていました。今後も、同様な点に留意して防災に努めて下さい。」と講評を頂きました。



現地対策本部で指揮をとる対策本部長



火災現場での消火訓練

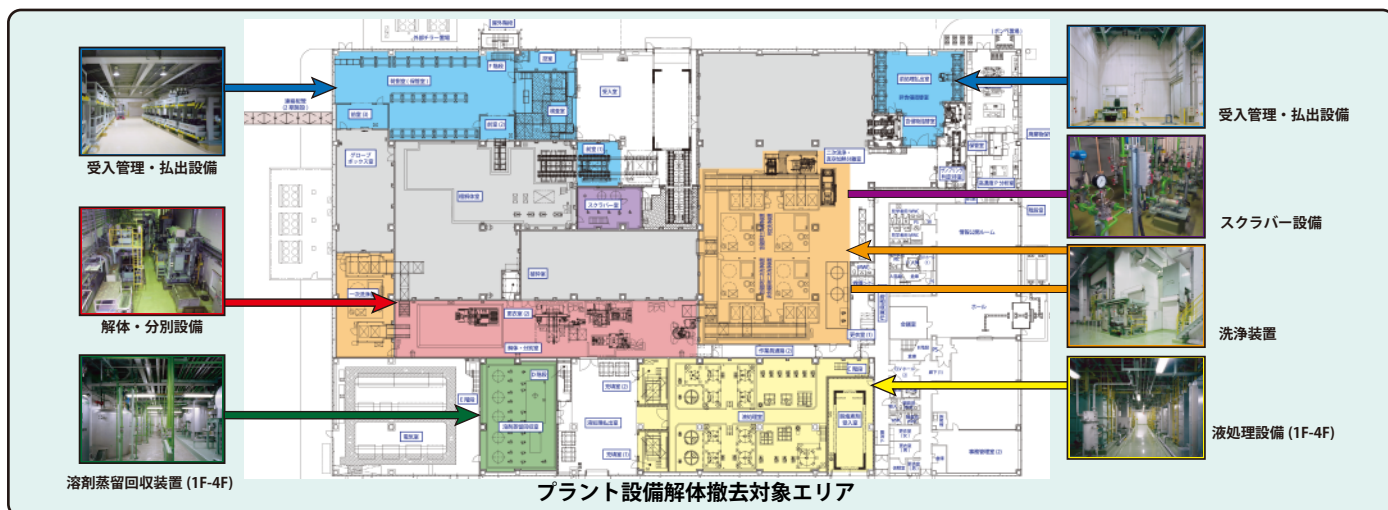


現地指揮本部に刻々と情報がよせられる

■ 第1期施設解体撤去進捗状況～プラント設備解体撤去工事着工

令和5年1月から4月にかけて工事事務所等の共通仮設工事が完了し、2月からは1期施設の間仕切壁に扉・シャッター付き開口を設置しています。

壁の開口設置後は、搬出ルートを確認のために機器類を撤去し、本格的にプラント設備の解体撤去を進めてまいります。



【連絡先】

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO) 北九州 PCB 処理事業所

[所在地] 〒808-0021 福岡県北九州市若松区響町1丁目62-24

[連絡先] ☎ 093-752-1113 [HP] <https://www.jesconet.co.jp/facility/kitakyushu/>

アザラシの「ぴーちゃん」